社員食堂20年、女性発案の新事業

架線工事のエヌティエスが「イタリアンバル」開業

鉄道架線工事業、エヌティエス（川崎市川崎区渡田山王町、☎044･322･5558）が、本社1階にイタリアンバル「Cocobal（ココバル）」を本格オープンさせた。社員食堂で腕を磨いてきた女性社員たちが中心となってメニューを開発し、コロナ禍に直面する会社のために新規事業を旗揚げ。事業再構築補助金にも採択された。20年以上の調理経験から生まれた料理の数々に、常連客も増えつつあるという。

同社が手掛ける鉄道架線工事は、社会インフラを支える大切な仕事。だが作業は夜中に始まり、始発までの限られた時間で終えなければならない。同社では、地方から就職し、過酷な環境で働く若い社員の健康を管理するため、20年ほど前に寮を整備した。

寮の社員食堂では女性社員たちが毎日、朝･昼･晩の3食を交代で作り、母のように提供してきた。昼食は「まかない」として全社員にも利用してもらい、社員食堂は健康管理とコミュニケーションの場にもなった。

こうした中、コロナ禍で本業の仕事と売り上げが減ったことを受け、女性社員たちが「（売り上げに）貢献するような仕事がしたい」と、立ち上がった。

経験や能力を生かして売り上げアップにつなげられる新事業は何か。議論を重ねて一致した意見は「飲食店」。ジャンルは、会社の近くにはないイタリアンを選んだ。社員食堂で洋食を担当していた社員が中心となり、メニューを開発した。

■常連客も続々と

本社ビル1階を店舗に改装。事業再構築補助金を活用し、厨房設備にもこだわった。

名物は「絶品ピザ」。パリッとした表面に、もっちりした食感が特徴。他店でもめったに導入していない高温のオーブンで焼いたという。

「いろいろな店の料理を食べて研究しました。開店までの間、弁当販売をやった時期もありましたが、今では少しずつ常連のお客さんも増え、うれしいです」と、小松崎礁アドバイザー。「日課のテレビ番組前にと、夕食を食べに来てくれる高齢者もいます。コロナ禍でのオープンで心配しましたが、影響はあまり感じません」とも語っている。

この記事のポイント
- ▽事業再構築補助金を活用し、社員食堂から外食産業に挑戦
- ▽地域にはない「イタリアン」の業態に着目し、常連客を獲得

「クマザサ」一筋、ペット用サプリ開発

大和生物研、全国50カ所で販売

古くから万能薬として使われてきた「クマザサ」の関連商品を手掛ける、大和生物研究所（川崎市高津区坂戸、☎044･819･2291）のペット向け事業が好調だ。同社がペット用に開発したサプリメント「ササエール」を取り扱う動物病院やペットサロンが増えており、現在までに全国約50カ所にまで拡大した。ペットの健康管理に対する関心の高まりが背景にあるようだ。

疲労回復や食欲不振、口臭･体臭の除去などの効能･効果があるとされるクマザサ。同社は1968年10月の創業以来、約半世紀にわたり、クマザサ一筋にこだわる。

扱うクマザサは純国産。標高1000㍍以上の高山に自生したものを使用し、長野県にある自社工場で加工する。

現在、複数の特許技術をベースにした“世界で唯一の医薬品製剤”とする第3類医薬品「ササヘルス」を製造。全国約1300店舗の薬局などで販売する。

こうした中、ヒト用に販売しているクマザサ医薬品を、ペットにも与えている購入者がいることを知り、クマザサ抽出エキスを原料にした動物用サプリメントとして「ササエール」を商品化した。

■市場規模は1600万頭

一般社団法人･ペットフード協会（東京都）によると、21年度の推計飼育頭数は、犬猫合わせて約1605万頭。15歳未満のこども人口よりも多いとされる。

ペットに対する医療技術や健康管理も人間同様のものが求められる傾向が年々高まっているという。

「ササエール」は、ペットの口腔環境をキープすることで健康を支える犬猫用サプリメントエキス。フードやおやつ、飲み水などに混ぜるか、直接口の中に垂らして使用する。価格は2200円。担当者は「安心安全の素材で自社製造しています。ペットの健康維持にも役立てられたら」と語っている。

この記事のポイント
- ▽“人間用”からペット用に商品化したことで新しい市場の開拓に成功
- ▽巣ごもりで拍車がかかったペットブームも追い風に

ペットの汚れ、「純水」使いクレンジング

TIME CLIP、日常のケアや介護時の衛生管理も

TIME CLIP（川崎市川崎区駅前本町、☎044･863･8438）は、洗浄成分や香料、保存料不使用のペット用シャンプー「PREMISTY（プレミスティー）」を開発した。産業用では不純物除去のために洗浄用として使われる「純水」が主成分。自身も猫を飼う渡部一雅社長が「アレルギーや敏感な皮膚を持つペットにも、毎日使える優しいものを」という思いを込めて製品化した。

口元や手足など、汚れが気になる部分にスプレーすると、皮脂や汗、よだれをイオン成分が分解。数十秒後にタオルなどで汚れを拭き取ることで、ふわふわの毛並みになるという。

トリミング後もきれいな状態を保つための日々のケアや、食事のたびに口元が汚れてしまうペットのケアに有効としている。シャンプーや入浴が負担になる高齢ペットの汚れ除去にも対応した。

「清潔を保つだけでなく、皮膚炎やフケ防止にもなるため、シャンプーは健康管理に欠かせません。しかし、高齢などを理由にペットにとって負担になることもあります。しかし、この製品なら短時間で済みます」と渡部社長。

犬や猫のほかにも、うさぎや毛足の長いペットにも使えるという。今後は、ペットサロンや動物病院など向けに展開する考え。米国への展開も進めている。

社長さんが知っておきたい 冠婚葬祭のマナー

大人の知恵袋⑮ ～コロナ禍の葬儀に参列する時間って？（続編）～

前回、一般的な御葬儀の流れをご説明いたしましたが、いかがでしたでしょうか。

事前に知っておくことで、もしもの時に心づもりができますよね。

今回も、みなさまの不安を少しでも和らげられればと、引き続き**コロナ禍の葬儀に参列する時間（続編）**について、ご遺族や参列者の方々からお問い合わせがあった事例をご紹介いたします。

Q. 親戚は何時頃、葬儀式場に伺えばいいんですか？

A. 喪主や親族は葬儀が始まる前に、葬儀社との打ち合わせや、準備などがあるため、開式の1時間前には会場に到着しておきましょう。

その際、自身の体調を過信せず、少しでも熱や咳などがある場合は、無理をせずに他の親戚の方へ事情をお話しし、代理や欠席の旨を伝えましょう。

Q. 友人ですが、どこまで参列するべきでしょうか？

A. 最後まで出席する必要はありませんが、通夜振る舞いや精進落としの会食に、遺族から声をかけられた場合は、長居しすぎず、30分～1時間位を目安に退席しましょう。もしも会食に不安を感じる場合は、遠慮せずに退席の旨を喪主へお話ししましょう。この時期は、喪主の方も心得ていらっしゃいますので、ご理解いただけるでしょう。

また、会食の形を取らない代わりに、お弁当やグルメギフトなどが用意されている場合もありますので、その際は遠慮せずにご供養として受け取りましょう。

最後に、新型コロナウイルス感染防止により、葬儀にも柔軟な対応が求められています。みなさまのご協力のもと、お見送りの形もさまざまですが、無理のないよう、葬儀社と十分に相談していただいた上で、万全の対策でお見送りいたしましょう。今回も参考にしていただければ幸いです。

（fami友葬・清水ふじ代）